

# 伊那市防災会議 関係資料

## 伊那市地域防災計画 新旧対照表

(傍線の部分は改正部分)

ページ	旧	新	摘要
全体	上で	うえで	
全体	資機材	資材	
全体	新型コロナウイルス等	(削除)	新型コロナウイルス感染症の「5類感染症」への変更に伴い修正
全体	防災マップ	防災ハンドブック	名所の変更に伴い修正
全体	被曝	被ばく	県地域防災計画を参考
全体	土砂災害危険溪流、地すべり危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所、土砂災害危険箇所	土砂災害警戒区域等	令和5年11月10日付国水砂第208号で国土交通省水管理・国土保全局砂防部砂防計画課長より各都道府県砂防主幹部(局)長あてに通知された文書を反映
総則―4	<p>(第2節) 1 略 (1) 周到かつ十分な災害予防 (ア)～(ウ) 略 (エ) 防災に関する研究及び観測等を推進するため防災に関する基本的データの集積、工学的、社会的分野の研究を含めた防災に関する研究の推進予測・観測の充実・強化を図る。また、これらの成果の情報提供及び防災施策への活用を図る。</p>	<p>(第2節) 1 略 (1) 周到かつ十分な災害予防 (ア)～(ウ) 略 (エ) 防災に関する研究及び観測等を推進するため防災に関する基本的データの集積、<u>科学的</u>、工学的社会的分野の研究を含めた防災に関する研究の推進予測・観測の充実・強化を図る。また、これらの成果の情報提供及び防災施策への活用を図る。</p>	文章の校正

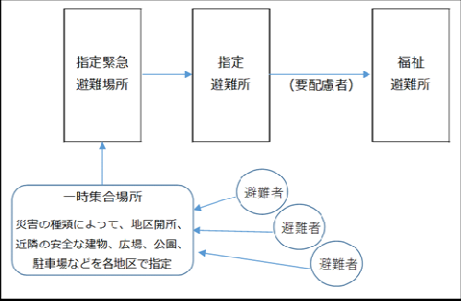
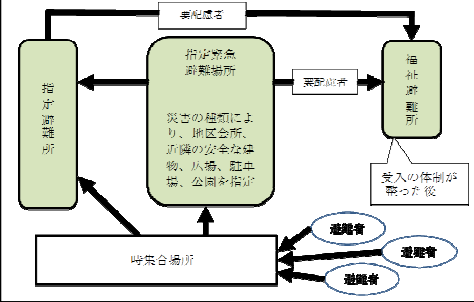
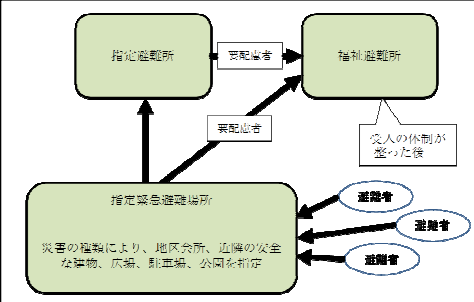
ページ	旧	新	摘要				
総則－6	<p>(オ)～(キ) 略 (2)～(3) 略 2 略 (1) <u>高齢者、障害者、乳幼児、その他、特に配慮を要するもの(以下「要配慮者」という。)</u>を含めた多くの住民の地域防災活動への参画。</p>	<p>(オ)～(キ) 略 (2)～(3) 略 2 略 (1) <u>要配慮者</u>を含めた多くの住民の地域防災活動への参画。</p>	<p>総則－4 ページ、第2節1 (2)ア(イ)において、「要配慮者」の定義がなされているため</p>				
総則－10	<p>(第3節) 第1 略 第2 処理すべき事務又は業務の大綱 1～5 略 6 指定地方行政機関</p> <table border="1" data-bbox="293 754 1025 1082"> <tr> <td data-bbox="293 754 488 1082"> <p>中部地方整備局 天竜川上流河川事務所 天竜川ダム統合管理事務所 三峰川総合開発工事事務所 飯田国道事務所</p> </td> <td data-bbox="488 754 1025 1082"> <p>(1) 災害予防 ア□応急復旧資材の備蓄の推進 イ□機動力を生かした実践的な方法による防災訓練の実施 ウ□関係機関との連携による災害に強い地域づくり計画の策定 (2) 応急・復旧 ア□応急活動のための体制の整備及び所掌事務の実施 イ□防災関係機関との連携による応急対策の実施 ウ□路上障害物の除去等による緊急輸送道路の確保 エ□土砂災害防止法に基づく、土砂災害緊急情報の伝達 オ□所管施設の緊急点検の実施 カ□緊急を要すると認められる場合の申し合わせに基づく、自主的な応急対策の実施</p> </td> </tr> </table>	<p>中部地方整備局 天竜川上流河川事務所 天竜川ダム統合管理事務所 三峰川総合開発工事事務所 飯田国道事務所</p>	<p>(1) 災害予防 ア□応急復旧資材の備蓄の推進 イ□機動力を生かした実践的な方法による防災訓練の実施 ウ□関係機関との連携による災害に強い地域づくり計画の策定 (2) 応急・復旧 ア□応急活動のための体制の整備及び所掌事務の実施 イ□防災関係機関との連携による応急対策の実施 ウ□路上障害物の除去等による緊急輸送道路の確保 エ□土砂災害防止法に基づく、土砂災害緊急情報の伝達 オ□所管施設の緊急点検の実施 カ□緊急を要すると認められる場合の申し合わせに基づく、自主的な応急対策の実施</p>	<p>(第3節) 第1 略 第2 処理すべき事務又は業務の大綱 1～5 略 6 指定地方行政機関 下表 三峰川総合開発工事事務所 <u>(削除)</u></p> <table border="1" data-bbox="1050 754 1778 1082"> <tr> <td data-bbox="1050 754 1245 1082"> <p>中部地方整備局 天竜川上流河川事務所 天竜川ダム統合管理事務所 飯田国道事務所</p> </td> <td data-bbox="1245 754 1778 1082"> <p>(1) 災害予防 ア□応急復旧資材の備蓄の推進 イ□機動力を生かした実践的な方法による防災訓練の実施 ウ□関係機関との連携による災害に強い地域づくり計画の策定 (2) 応急・復旧 ア□応急活動のための体制の整備及び所掌事務の実施 イ□防災関係機関との連携による応急対策の実施 ウ□路上障害物の除去等による緊急輸送道路の確保 エ□土砂災害防止法に基づく、土砂災害緊急情報の伝達 オ□所管施設の緊急点検の実施 カ□緊急を要すると認められる場合の申し合わせに基づく、自主的な応急対策の実施</p> </td> </tr> </table>	<p>中部地方整備局 天竜川上流河川事務所 天竜川ダム統合管理事務所 飯田国道事務所</p>	<p>(1) 災害予防 ア□応急復旧資材の備蓄の推進 イ□機動力を生かした実践的な方法による防災訓練の実施 ウ□関係機関との連携による災害に強い地域づくり計画の策定 (2) 応急・復旧 ア□応急活動のための体制の整備及び所掌事務の実施 イ□防災関係機関との連携による応急対策の実施 ウ□路上障害物の除去等による緊急輸送道路の確保 エ□土砂災害防止法に基づく、土砂災害緊急情報の伝達 オ□所管施設の緊急点検の実施 カ□緊急を要すると認められる場合の申し合わせに基づく、自主的な応急対策の実施</p>	<p>R5年度末にて解散予定のため修正</p>
<p>中部地方整備局 天竜川上流河川事務所 天竜川ダム統合管理事務所 三峰川総合開発工事事務所 飯田国道事務所</p>	<p>(1) 災害予防 ア□応急復旧資材の備蓄の推進 イ□機動力を生かした実践的な方法による防災訓練の実施 ウ□関係機関との連携による災害に強い地域づくり計画の策定 (2) 応急・復旧 ア□応急活動のための体制の整備及び所掌事務の実施 イ□防災関係機関との連携による応急対策の実施 ウ□路上障害物の除去等による緊急輸送道路の確保 エ□土砂災害防止法に基づく、土砂災害緊急情報の伝達 オ□所管施設の緊急点検の実施 カ□緊急を要すると認められる場合の申し合わせに基づく、自主的な応急対策の実施</p>						
<p>中部地方整備局 天竜川上流河川事務所 天竜川ダム統合管理事務所 飯田国道事務所</p>	<p>(1) 災害予防 ア□応急復旧資材の備蓄の推進 イ□機動力を生かした実践的な方法による防災訓練の実施 ウ□関係機関との連携による災害に強い地域づくり計画の策定 (2) 応急・復旧 ア□応急活動のための体制の整備及び所掌事務の実施 イ□防災関係機関との連携による応急対策の実施 ウ□路上障害物の除去等による緊急輸送道路の確保 エ□土砂災害防止法に基づく、土砂災害緊急情報の伝達 オ□所管施設の緊急点検の実施 カ□緊急を要すると認められる場合の申し合わせに基づく、自主的な応急対策の実施</p>						
総則－13	<p>(第3節) 1～8 略 9 <u>伊那市男と女ネットワーク協議会</u>等各種団体</p>	<p>(第3節) 1～8 略 9 <u>女性団体連絡協議会</u>等各種団体</p>	<p>団体の名称の変更にあわせて修正</p>				

ページ	旧	新	摘 要
総則—16	<p>(第4節) 1～5 略 6 災害の履歴 (1) 略 (2) 台 風</p> <p>台風は、南海の海上で発生し、台風が接近すると暖湿気流が南から吹き込むため、風だけでなく大雨も降らせる。台風はるか南方にあるうちから、本州付近の梅雨前線、秋雨前線が台風の影響で活動的となり、上陸前から各地に大雨が降り、更に接近すると、前線が北方に押し上げられ、山岳地帯にその風が当たり、強制上昇気流が発生して地形的に大雨が降る傾向があり、風害ともなって水害が発生する。このようにして、過去大規模となった例が多い。</p> <p>長野県全般に地勢の関係上、台風の通路となることが少なく、太平洋沿岸地方に比べて台風による被害は少ない。台風の通路となった場合も、山岳などの影響を受けて、急に衰えたり、中心が分裂したりするため、局地的な被害があって全般的には被害が少ない。市に影響を及ぼす台風の特徴として、雨台風と風台風の二つに分けられる。</p>	<p>(第4節) 1～5 略 6 災害の履歴 (1) 略 (2) 台 風</p> <p>台風は、南海の海上で発生し、台風が接近すると暖湿気流が南から吹き込むため、風だけでなく大雨も降らせる。台風はるか南方にあるうちから、本州付近の梅雨前線、秋雨前線が台風の影響で活動的となり、上陸前から各地に大雨が降り、更に接近すると、前線が北方に押し上げられ、山岳地帯にその風が当たり、強制上昇気流が発生して地形的に大雨が降る傾向があり、風害も伴う水害が発生する。このようにして、過去大規模となった例が多い。</p> <p>長野県全般に地勢の関係上、台風の経路となることが少なく、太平洋沿岸地方に比べて台風による被害は少ない。台風の経路となった場合も、山岳などの影響を受けて、急に衰えたり、中心が分裂したりするため、局地的な被害があって全般的には被害が少ない。<u>しかし、近年の台風は大型化に伴い経路が離れていても、市に影響を及ぼすため注意が必要である。</u>市に影響を及ぼす台風の特徴として、雨台風と風台風の二つに分けられる。</p>	<p>文言の言い換え及び近年の台風災害の特徴を追記</p>
総則—16、17	<p>(第4節) 1～5 略 6 災害の履歴 (1)～(4) 略 (5) 雪 害</p> <p>比較的雪の少ない本市であるが、平成10年1月には、近年例を見ない降雪に見舞われ市内全域において未曾有の被害が発生した。その後、平成12年1月、平成26年2月の大雪のため災害警戒本部が設置されており、今後雪対策の体制の強化が必要である。</p>	<p>(第4節) 1～5 略 6 災害の履歴 (1)～(4) 略 (5) 雪 害</p> <p>比較的雪の少ない本市であるが、平成10年1月には、近年例を見ない降雪に見舞われ市内全域において未曾有の被害が発生した。その後、平成12年1月、平成26年2月の大雪のため災害警戒本部が設置されており、<u>令和5年2月では、、、、</u>今後雪対策の体制の強化が必要である。</p>	<p>令和5年2月大雪に関する情報を追記</p>

ページ	旧	新	摘 要
総則一18	<p>(第5節)</p> <p>1 災害の定義</p> <p>この計画において、災害とは。暴風、竜巻、豪雨、豪雪、洪水、崖崩れ、土石流、地震、噴火、地滑りその他の異常な自然現象又は大規模な火事もしくは爆発<u>その他その及ぼす被害の程度による原因</u>により生じる被害を言う</p> <p>2 自然的条件に見る災害の原因</p> <p>(1) 土砂災害</p> <p>地形上、<u>土石流危険渓流、急傾斜地崩壊危険箇所、地滑り危険箇所</u>等が多く、土砂災害等が発生しやすい地形である。</p> <p>(2) 水 害</p> <p>天竜川とその支流に洪水のおそれがある。<u>特に支流は、急峻な河川が多く氾濫による洪水などが発生しやすい地形である。</u></p> <p>(3) 略</p> <p>(4) 東海地震</p> <p>東海地震に係る地震防災対策強化地域に指定されており、東海地震の影響を強く受ける地域である。</p> <p>(5) 略</p> <p>(6) 近年は、局地的及び特異な気象現象（竜巻、集中豪雨）が発現する。可能性が高まっている。</p>	<p>(第5節)</p> <p>1 災害の定義</p> <p>この計画において、災害とは。暴風、竜巻、豪雨、豪雪、洪水、崖崩れ、土石流、地震、噴火、地滑りその他の異常な自然現象又は大規模な火事もしくは爆発その他の原因により生じる被害を言う</p> <p>2 自然的条件に見る災害の原因</p> <p>(1) 土砂災害</p> <p>地形上、<u>土砂災害警戒区域等</u>が多く、<u>伊那谷は、局地的及び短時間豪雨の特性があるため</u>、土砂災害等が発生しやすい地形である。</p> <p>(2)～(3) 略</p> <p><u>(4) 洪水災害</u></p> <p>天竜川とその支流に洪水のおそれがある。急峻な河川が多く氾濫による洪水などが発生しやすい地形である。</p> <p>(4) <u>(削除)</u></p> <p>(6) <u>(削除)</u></p>	<p>令和5年11月10日付国水砂第208号で国土交通省水管理・国土保全局砂防部砂防計画課長より各都道府県砂防主幹部（局）長あてに通知された文書を反映</p>
総則一18、19	<p>(第5節)</p> <p>1～2 略</p> <p>3 社会的条件にみる災害の要因</p> <p>(1)～(4) 略</p> <p>(5) ライフスタイルの変化</p> <p>ライフライン、コンピューター、情報通信ネットワーク、交通ネットワーク等への依存度が高まっており災害時におけるこれらの被害は、日常生活、産業活動に深刻な影響をもたらすことから、これら施設の耐震化の促進し、補完的機能の充実を行う。</p>	<p>(第5節)</p> <p>1～2 略</p> <p>3 社会的にみる災害の要因</p> <p>(1)～(4) 略</p> <p>(5) ライフスタイルの変化</p> <p>ライフライン、情報通信ネットワーク、交通ネットワーク等への依存度が高まっており災害時におけるこれらの被害は、日常生活、産業活動に深刻な影響をもたらすことから、これら施設の耐震化の促進し、補完的機能の充実を行う。</p>	<p>脱字の修正 文章の校正</p>

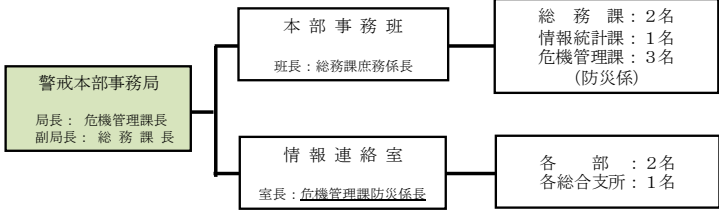
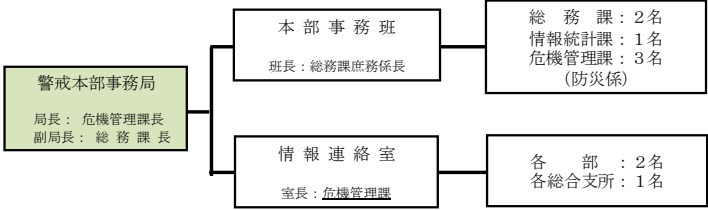
ページ	旧	新	摘要
総則―18、19	<p>(6) 住民意識の変化 住民意識及び生活環境の変化として、近隣扶助の意識の低下がみられる。このため、コミュニティ自主防災組織を強化し、多くの住民参加による定期的な防災訓練と防災思想の徹底等を行う。</p>	<p>(6) 住民意識の変化 住民意識及び生活環境が変化し、近隣扶助の意識の低下がみられる。このため、コミュニティや自主防災活動を強化し、多くの市住民参加による定期的な防災訓練と防災意識の向上に取り組む。</p>	
計画―13	<p>(第3節) 1～3 略 4 その他の応援協定団体等 地震、風水害その他の災害が発生、又は発生する恐れがある場合において、食料品、生活必需品等を迅速に調達して、円滑に被災者に供給するために地域事業者と応援協定の締結を促進する。「資料66伊那市災害時応援協定一覧」</p>	<p>(第3節) 1～3 略 4 その他の応援協定団体等 災害が発生、又は発生する恐れがある場合において、食料品、生活必需品等を迅速に調達して、円滑に被災者に供給するために地域事業者と応援協定の締結を促進する。「資料66伊那市災害時応援協定一覧」</p>	<p>県地域防災計画にあわせて修正</p>
計画―15	<p>(第4節) 第1～第2 略 第3 通信手段の整備（危機管理課、総務課、上伊那広域消防本部。関係各部 1 多様な通信系の確保 (1) 災害に関する情報連絡の機能を維持するため、災害時用公衆電話（特設公衆電話）、有線放送、伊那市が行うCATV（以下「CATV」という。）、各種無線電話設備等の整備・保守・管理を徹底する。また危機の転倒防止及び予備電源等を確保する。 (2)～(4) 略 (5) 衛星携帯電話、MCA移動無線等の移動系の応急対策機器の整備を図る。</p>	<p>(第4節) 第1～第2 略 第3 通信手段の整備（危機管理課、総務課、上伊那広域消防本部。関係各部） 1 多様な通信系の確保 (1) 災害に関する情報連絡の機能を維持するため、災害時用公衆電話（特設公衆電話）、各種無線電話設備等の整備・保守・管理を徹底するほか、有線放送CATVとの連携強化を図る。 (2)～(4) 略 (5) 衛星携帯電話、MCA移動無線、<u>公共安全LTE（PS-LTE）</u>等の移動系の応急対策機器の整備を図る。</p>	<p>県地域防災計画にあわせて修正</p>

ページ	旧	新	摘 要
計画一16	<p>(第5節)</p> <p>1 広報システムの整備</p> <p>(5) 公式ホームページ、<u>ソーシャルメディア</u>等による情報提供</p>	<p>(第5節)</p> <p>1 広報システムの整備</p> <p>(5) 公式ホームページ、<u>伊那市防災気象情報</u>、ソーシャルメディア等による情報提供</p>	伊那市防災気象情報の道に導入に和せて追記
計画一30	<p>(第8節)</p> <p>1～2 略</p> <p>3 要配慮者・避難行動要支援者対策</p> <p>(1) 略</p> <p>(2) 避難行動用要支援者名簿の作成</p> <p>ク 災害時に避難行動要支援者が円滑かつ安全委避難を行うことができるよう「避難情報に関する判断・伝達マニュアル」に基づき、高齢者等避難を適時適切に発令するとともに、避難行動要支援者の個々の態様に配慮し、防災無線や広報車、地域安心安全メール、伊那ケーブルテレビジョン、いなあいネット、<u>ソーシャルネットワークサービス</u>(SNS)、ラジオ、テレビ放送等の活用など、複数の手段による情報伝達を行う。</p>	<p>(第8節)</p> <p>1～2 略</p> <p>3 要配慮者・避難行動要支援者対策</p> <p>(1) 略</p> <p>(2) 避難行動用要支援者名簿の作成</p> <p>ク 災害時に避難行動要支援者が円滑かつ安全委避難を行うことができるよう「避難情報に関する判断・伝達マニュアル」に基づき、高齢者等避難を適時適切に発令するとともに、避難行動要支援者の個々の態様に配慮し、防災無線や広報車、地域安心安全メール、伊那ケーブルテレビジョン、いなあいネット、<u>SNS</u>、ラジオ、テレビ放送等の活用など、複数の手段による情報伝達を行う。</p>	文言の修正
計画一43	<p>(第12節)</p> <p>1～3 略</p> <p>4 福祉避難所</p> <p>(1) 「資料67—61～78災害時における要配慮者の受け入れに関する協定」</p>	<p>(第12節)</p> <p>1～3 略</p> <p>4 福祉避難所</p> <p>(1) 「資料67—57～74災害時における要<u>援護者</u>の受け入れに関する協定」</p>	資料編との整合性をとるため修正
計画一44	<p>(第12節)</p> <p>5 指定緊急避難場所及び指定避難所等のイメージ図(地震時の例)</p>	<p>(第12節)</p> <p>5 指定緊急避難場所及び指定避難所等のイメージ図(地震時の例)</p>	避難者の動きのイメージ図を修正。(更に水害時の例)を追記

ページ	旧	新	摘要
計画—44		 <p style="text-align: center;">(水害時の例) (新設)</p> 	
計画—49	<p>(第13節) 基本方針 略 主な取り組み 略 計画の内容</p> <p>1 避難誘導體制の確立</p> <p>(1)～(6) 略</p> <p>(7) 事前周知活動 ア～イ 略</p> <p>ウ 避難指示等が発令された場合の避難行動としては、指定緊急避難場所、安全な親類・知人宅、ホテル・旅館等への避難を基本とするものの、ハザードマップ等を踏まえ、自宅等で身の安全を確保できる場合は、住民自らの</p>	<p>(第13節) 基本方針 略 主な取り組み 略 計画の内容</p> <p>1 避難誘導體制の確立</p> <p>(1)～(6) 略</p> <p>(7) 事前周知活動 ア～イ 略</p> <p>ウ 避難指示が発令された場合の避難行動としては、指定緊急避難場所や安全な親類・知人宅、ホテル・旅館等への避難を基本とするものの、ハザードマップ等を踏まえ、自宅等で身の安全を確保することができる場合や、<u>周</u></p>	文章の校正

ページ	旧	新	摘 要
計画—49	<p>判断で「屋内安全確保」を行うことや、避難時の周囲の状況等により、指定緊急避難場所等への避難がかえって危険を伴う場合は、「緊急安全確保」を行うべきことについて、市は、日頃から住民等への周知徹底に努める。</p>	<p><u>囲の状況等により、指定緊急避難場所等への避難がかえって危険を伴う場合は、住民自らの判断で「屋内安全確保」を行うことを周知する。</u></p>	
計画—53	<p>(第15節) 第2 給水体制の整備 1 略 2 飲料水の供給 (3) <u>平素</u>から被災の範囲、被害の状況、給水拠点の被害の予想を行う。</p>	<p>(第15節) 第2 給水体制の整備 1 略 2 飲料水の供給 (3) <u>平時</u>から被災の範囲、被害の状況、給水拠点の被害の予想を行う。</p>	文言の言い換え
計画—57	<p>(第17節) 1 規制及び指導の強化 (1) 危険物施設の設置又は変更の許可にあたっては、<u>風水害、地震動による慣性力等</u>によって生ずる影響を十分に考慮した位置、構造及び設備とするよう、設置者（申請者）に対する指導を強化する。 (2) 既設の危険物施設については施設の管理者対し、<u>風水害及び地震発生時の安全確保</u>について再点検を求め、必要に応じて、改修、改造、移転等の指導助言を行い、安全性の向上を図る。</p>	<p>(第17節) 1 規制及び指導の強化 (1) 危険物施設の設置又は変更の許可にあたっては、<u>災害</u>によって生ずる影響を十分考慮した位置、構造及び設備とするよう、設置者（申請者）に対する指導を強化する。 (2) 既設の危険物施設について施設の管理者に対し、<u>災害</u>時の安全確保について再点検を求め、必要に応じて、改修、改造、移転等の指導、助言を行い、安全性の向上を図る。</p>	県地域防災計画にあわせて修正。
計画—60	<p>(第19節) 3 風水害対策 <u>河川の氾濫等災害時</u>においても、一定の下水道機能を確保するため、下水道施設の耐水化計画に基づき、施設の耐水化を行う。</p>	<p>(第19節) 3 風水害対策 <u>風水害による</u>災害時においても、一定の下水道機能を確保するため、下水道施設の耐水化計画に基づき、施設の耐水化を行う。</p>	文言の言い換え



ページ	旧	新	摘要
計画—90	<p>(第32節) 基本方針 略 主な取り組み 略 計画内容 1～10 略 11 企業は豪雨や暴風などで屋外移動が危険な状況であるときに従業員等が屋外を移動することのないよう、また、避難を実施する場合における混雑・混乱等をふせぐため、テレワークの実施、時差出勤、計画的休業など不要不急の外出を控えさせるための適切な措置を講ずるよう努める。</p>	<p>(第32節) 基本方針 略 主な取り組み 略 計画内容 1～10 略 11 企業は豪雨や暴風などで屋外移動が危険な状況であるときに従業員等が屋外を移動することのないようにする。また、避難を実施する場合における混雑・混乱等をふせぐため、テレワークの実施、時差出勤、計画的休業など不要不急の外出を控えさせるための適切な措置を講ずるよう努める。</p>	文章の添削
組織—15	<p>(第2節) 第1 略 第2 災害警戒本部の設置 1～2 略 3 組織及び運営 (1)～(2) 略 (3)災害警戒本部事務局 ア～イ 略 ウ 警戒本部事務局の組織</p> 	<p>(第2節) 第1 略 第2 災害警戒本部の設置 1～2 略 3 組織及び運営 (1)～(2) 略 (3)災害警戒本部事務局 ア～イ 略 ウ 警戒本部事務局の組織</p> 	現状に合わせて修正

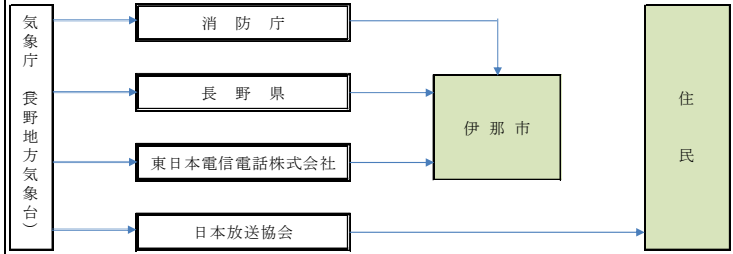
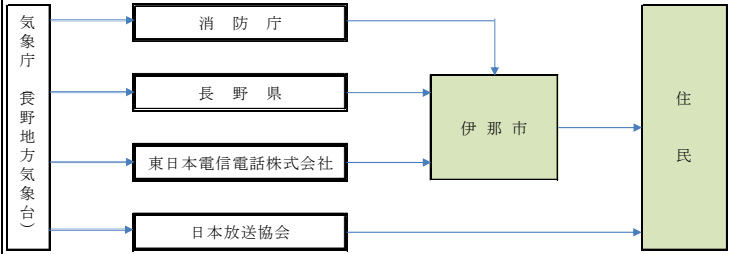
ページ	旧	新	摘要
組織—20	<p>(第2節) 第1～第3 略 第4 災害対策本部の設置 1～8 略 9 組織及び運営 (1)～(2) 略 (3) 災害対策本部事務局 (ア)～(ウ) 略 (エ) 災対本部事務局の組織</p>	<p>(第2節) 第1～第3 略 第4 災害対策本部の設置 1～8 略 9 組織及び運営 (1)～(2) 略 (3) 災害対策本部事務局 (ア)～(ウ) 略 (エ) 災対本部事務局の組織</p>	現状に合わせて修正
風水害—5	<p>(第1節) 基本方針 略 主な活動 略 活動内容 第1～第2 略 第3 土砂災害前兆現象の把握と対応 1～4 略 <u>〈土砂災害前兆現象情報の伝達の流れ(イメージ)〉</u></p>	<p>(第1節) 基本方針 略 主な活動 略 活動内容 第1～第2 略 第3 土砂災害前兆現象の把握と対応 1～4 略 <u>〈土砂災害前兆現象情報の伝達の流れ(イメージ)〉</u></p>	誤字の修正

ページ	旧	新	摘要
風水害―5			
風水害―6	<p>(第2節) 基本方針 略 主な活動 1～4 略 5 避難指示が発令された場合の避難行動としては、指定緊急避難場所や安全な親類・知人宅、ホテル・旅館等への避難を基本とするものの、ハザードマップ等を踏まえ、自宅等で身の安全確保できる場合は、<u>住民自らの判断で「屋内安全確保」を行うことや、避難時の周囲の状況により、指定緊急避難場所等への避難がかえって危険を伴う場合は、「緊急安全確保」を行うべきことについて、住民等への周知徹底に努める。</u></p>	<p>(第2節) 基本方針 略 主な活動 1～4 略 5 避難指示が発令された場合の避難行動としては、指定緊急避難場所や安全な親類・知人宅、ホテル・旅館等への避難を基本とするものの、ハザードマップ等を踏まえ、自宅等で身の安全を確保することができる場合や、<u>周囲の状況等により、指定緊急避難場所等への避難がかえって危険を伴う場合は、住民自らの判断で「屋内安全確保」を行うことを周知する。</u></p>	文章の校正
風水害―7	<p>(第2節) 基本方針 略 主な活動 1～7 略 8 情報の伝達、避難誘導の実施にあたっては、避難行動要支援者、<u>その他歩行が困難な者等から優先的に実施する。</u> 9～10 略 11 地域住民等の事前避難が必要と判断される場合に</p>	<p>(第2節) 基本方針 略 主な活動 1～7 略 8 情報の伝達、避難誘導の実施にあたっては、避難行動要支援者から優先的に実施する。 9～10 略 11 地域住民等の事前避難が必要と判断される場合には、必要に応じ、住民等が避難するための施設を開</p>	文章の校正

ページ	旧	新	摘要
風水害—7	<p>は、必要に応じ、住民等が避難するための施設を開放し、住民等に対し周知徹底を図る。</p> <p>12 災害の規模にかんがみ、必要な避難所を、<u>可能な限り当初から開設するように努める。</u></p> <p>活動の内容</p> <p>第1 避難指示等（危機管理課）</p> <p>1 高齢者等避難、避難指示の意味</p> <p>(1) 略</p> <p>(2) 「避難指示」</p> <p>災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、人の生命又は身体を災害から保護し、その他災害の拡大を防止するため、特に必要があると身と寝るときに発せられ、<u>住民に避難のための立ち退きを指示すること</u>をいう。</p>	<p>放し、住民等に対し周知する。</p> <p>12 災害の規模にかんがみ、必要な避難所を、<u>早期に開設するように努める。</u></p> <p>活動の内容</p> <p>第1 避難指示等（危機管理課）</p> <p>1 高齢者等避難、避難指示の意味</p> <p>(1) 略</p> <p>(2) 「避難指示」</p> <p>災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、人の生命又は身体を災害から保護し、その他災害の拡大を防止するため、特に必要があると身と寝るときに発せられ、<u>居住者に対し危険な場所から、立ち退きを指示すること</u>をいう。</p>	
風水害—12	<p>(第2節)</p> <p>基本方針 略</p> <p>主な活動 略</p> <p>活動内容</p> <p>第1 略</p> <p>第2 避難指示の周知（危機管理課）</p> <p>1 避難指示等の伝達</p> <p>(1)～(4) 略</p> <p>(5) 連絡を受けた、いなあいネットは、有線放送により、住民に周知する。</p> <p>(6) 連絡を受けた、伊那ケーブルテレビは、地域安心安全メールの内容を字幕スーパーで放送する。</p>	<p>(第2節)</p> <p>基本方針 略</p> <p>主な活動 略</p> <p>活動内容</p> <p>第1 略</p> <p>第2 避難指示の周知（危機管理課）</p> <p>1 避難指示等の伝達</p> <p>(1)～(4) 略</p> <p>(5) <u>(削除)</u></p> <p>(6) <u>(削除)</u></p>	現状に合わせて修正
風水害—17	<p>(第4節)</p> <p>1～4 略</p> <p>5 <u>(新設)</u></p>	<p>(第4節)</p> <p>1～4 略</p> <p><u>5 盛土による災害の防止に向けた対策</u></p> <p><u>危険な盛土が確認された場合は各法令に基づき、速やかに撤去命令等の是正指導を行う。またその内容について、県と情報共有を行うと共に、必要に応じて住民の周知を図るものとする</u></p>	県地域防災計画にあわせて修正

ページ	旧	新	摘要																																								
風水害—22	<p>(第5節)</p> <p>1 略</p> <p>2 参考3：雪を要因とする特別警報の指標</p> <p>府県予報区程度の広がりを持って50年に一度の積雪深となり、かつ、その後も警報級の積雪が丸一日程度以上続くと予想される場合に、大雪特別警報を発表する。</p> <p>雪に関する観測地点毎50年に一度の値一覧（一部抜粋、令和2年10月29日現在）<sup>4</sup></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>府県予報区<sup>4</sup></th> <th>地点名<sup>4</sup></th> <th>50年に一度の積雪深(cm)<sup>4</sup></th> <th>既往最深積雪深(cm)<sup>4</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長野県<sup>4</sup></td> <td>松本<sup>4</sup></td> <td>57<sup>4</sup></td> <td>78<sup>4</sup></td> </tr> <tr> <td>長野県<sup>4</sup></td> <td>諏訪<sup>4</sup></td> <td>58<sup>4</sup></td> <td>89<sup>4</sup></td> </tr> <tr> <td>長野県<sup>4</sup></td> <td>軽井沢<sup>4</sup></td> <td>78<sup>4</sup></td> <td>99<sup>4</sup></td> </tr> <tr> <td>長野県<sup>4</sup></td> <td>飯田<sup>4</sup></td> <td>46<sup>4</sup></td> <td>81<sup>4</sup></td> </tr> </tbody> </table>	府県予報区 <sup>4</sup>	地点名 <sup>4</sup>	50年に一度の積雪深(cm) <sup>4</sup>	既往最深積雪深(cm) <sup>4</sup>	長野県 <sup>4</sup>	松本 <sup>4</sup>	57 <sup>4</sup>	78 <sup>4</sup>	長野県 <sup>4</sup>	諏訪 <sup>4</sup>	58 <sup>4</sup>	89 <sup>4</sup>	長野県 <sup>4</sup>	軽井沢 <sup>4</sup>	78 <sup>4</sup>	99 <sup>4</sup>	長野県 <sup>4</sup>	飯田 <sup>4</sup>	46 <sup>4</sup>	81 <sup>4</sup>	<p>(第5節)</p> <p>1 略</p> <p>2 参考3：雪を要因とする特別警報の指標</p> <p>府県予報区程度の広がりを持って50年に一度の積雪深となり、かつ、その後も警報級の積雪が丸一日程度以上続くと予想される場合に、大雪特別警報を発表する。</p> <p>雪に関する観測地点毎50年に一度の値一覧（一部抜粋、令和5年11月1日現在）<sup>4</sup></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>府県予報区<sup>4</sup></th> <th>地点名<sup>4</sup></th> <th>50年に一度の積雪深(cm)<sup>4</sup></th> <th>既往最深積雪深(cm)<sup>4</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長野県<sup>4</sup></td> <td>松本<sup>4</sup></td> <td>57<sup>4</sup></td> <td>78<sup>4</sup></td> </tr> <tr> <td>長野県<sup>4</sup></td> <td>諏訪<sup>4</sup></td> <td>58<sup>4</sup></td> <td>89<sup>4</sup></td> </tr> <tr> <td>長野県<sup>4</sup></td> <td>軽井沢<sup>4</sup></td> <td>78<sup>4</sup></td> <td>99<sup>4</sup></td> </tr> <tr> <td>長野県<sup>4</sup></td> <td>飯田<sup>4</sup></td> <td>45<sup>4</sup></td> <td>81<sup>4</sup></td> </tr> </tbody> </table>	府県予報区 <sup>4</sup>	地点名 <sup>4</sup>	50年に一度の積雪深(cm) <sup>4</sup>	既往最深積雪深(cm) <sup>4</sup>	長野県 <sup>4</sup>	松本 <sup>4</sup>	57 <sup>4</sup>	78 <sup>4</sup>	長野県 <sup>4</sup>	諏訪 <sup>4</sup>	58 <sup>4</sup>	89 <sup>4</sup>	長野県 <sup>4</sup>	軽井沢 <sup>4</sup>	78 <sup>4</sup>	99 <sup>4</sup>	長野県 <sup>4</sup>	飯田 <sup>4</sup>	45 <sup>4</sup>	81 <sup>4</sup>	<p>気象庁による「雪に関する観測地点毎50年に一度の値一覧」の改定に伴い修正</p>
府県予報区 <sup>4</sup>	地点名 <sup>4</sup>	50年に一度の積雪深(cm) <sup>4</sup>	既往最深積雪深(cm) <sup>4</sup>																																								
長野県 <sup>4</sup>	松本 <sup>4</sup>	57 <sup>4</sup>	78 <sup>4</sup>																																								
長野県 <sup>4</sup>	諏訪 <sup>4</sup>	58 <sup>4</sup>	89 <sup>4</sup>																																								
長野県 <sup>4</sup>	軽井沢 <sup>4</sup>	78 <sup>4</sup>	99 <sup>4</sup>																																								
長野県 <sup>4</sup>	飯田 <sup>4</sup>	46 <sup>4</sup>	81 <sup>4</sup>																																								
府県予報区 <sup>4</sup>	地点名 <sup>4</sup>	50年に一度の積雪深(cm) <sup>4</sup>	既往最深積雪深(cm) <sup>4</sup>																																								
長野県 <sup>4</sup>	松本 <sup>4</sup>	57 <sup>4</sup>	78 <sup>4</sup>																																								
長野県 <sup>4</sup>	諏訪 <sup>4</sup>	58 <sup>4</sup>	89 <sup>4</sup>																																								
長野県 <sup>4</sup>	軽井沢 <sup>4</sup>	78 <sup>4</sup>	99 <sup>4</sup>																																								
長野県 <sup>4</sup>	飯田 <sup>4</sup>	45 <sup>4</sup>	81 <sup>4</sup>																																								

ページ	旧	新	摘要																																														
風水害—23	<p>(第5節)</p> <p>1 略</p> <p>2</p> <p>(別表)伊那市の警報・注意報発表基準一覧表（令和2年6月8日現在）<sup>4</sup></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類<sup>4</sup></th> <th>発表基準<sup>4</sup></th> <th>警報基準<sup>4</sup></th> <th>注意報基準<sup>4</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">大雨<sup>4</sup></td> <td>(浸水害)<sup>4</sup> 表面雨量指数基準<sup>4</sup></td> <td>11<sup>4</sup></td> <td>5<sup>4</sup></td> </tr> <tr> <td>(土砂災害)<sup>4</sup> 土壌雨量指数基準<sup>4</sup></td> <td>111<sup>4</sup></td> <td>79<sup>4</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">流域雨量指数基準<sup>4</sup></td> <td>瀬沢川流域=4.5、櫛沢川流域=7.4<sup>4</sup> 戸谷川流域=4.3、小沢川流域=3.9<sup>4</sup> 小黒川流域=8.8、犬田切川流域=5.5<sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=3.8、大沢川流域=5.1<sup>4</sup> 三峰川流域=32.3、新山川流域=5.6<sup>4</sup> 藤沢川流域=12.2、松倉川流域=5.7<sup>4</sup> 山室川流域=8.7、黒川流域=17.1<sup>4</sup> 大清水川流域=5.0、粟沢川流域=4.7<sup>4</sup></td> <td>瀬沢川流域=3.6、櫛沢川流域=5.9<sup>4</sup> 戸谷川流域=3.4、小沢川流域=7.1<sup>4</sup> 小黒川流域=5.4、犬田切川流域=4.4<sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=3.0、大沢川流域=4.0<sup>4</sup> 三峰川流域=25.8、新山川流域=4.4<sup>4</sup> 藤沢川流域=9.7、松倉川流域=4.5<sup>4</sup> 山室川流域=8.9、黒川流域=13.8<sup>4</sup> 大清水川流域=4.0、粟沢川流域=3.7<sup>4</sup></td> <td>瀬沢川流域=3.6、櫛沢川流域=5.9<sup>4</sup> 戸谷川流域=3.5、小沢川流域=7.1<sup>4</sup> 小黒川流域=5.8、犬田切川流域=4.4<sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=3.3、大沢川流域=4.1<sup>4</sup> 三峰川流域=27.8、新山川流域=4.4<sup>4</sup> 藤沢川流域=10.0、松倉川流域=4.8<sup>4</sup> 山室川流域=7.1、黒川流域=15.5<sup>4</sup> 大清水川流域=4.0、粟沢川流域=3.8<sup>4</sup></td> </tr> <tr> <td>洪水<sup>4</sup></td> <td>戸谷川流域=(5, 2.2)<sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 4.3)<sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 2.4)<sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 3.2)<sup>4</sup> 三峰川流域=(6, 20.6)<sup>4</sup> 新山川流域=(6, 3.5)<sup>4</sup> 藤沢川流域=(6, 7.8)<sup>4</sup> 天竜川流域=(6, 31.8)<sup>4</sup></td> <td>戸谷川流域=(5, 2.2)<sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 4.3)<sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 2.4)<sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 3.2)<sup>4</sup> 三峰川流域=(6, 20.6)<sup>4</sup> 新山川流域=(6, 3.5)<sup>4</sup> 藤沢川流域=(6, 7.8)<sup>4</sup> 天竜川流域=(6, 31.8)<sup>4</sup></td> <td>戸谷川流域=(5, 2.5)<sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 4.5)<sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 2.4)<sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 3.2)<sup>4</sup> 三峰川流域=(6, 20.6)<sup>4</sup> 新山川流域=(6, 3.5)<sup>4</sup> 藤沢川流域=(6, 7.8)<sup>4</sup> 天竜川流域=(6, 31.8)<sup>4</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">複合基準<sup>4</sup></td> <td>戸谷川流域=(5, 3.3)<sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 6.1)<sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 3.4)<sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 4.5)<sup>4</sup></td> <td>戸谷川流域=(5, 3.2)<sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 6.4)<sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 3.4)<sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 4.5)<sup>4</sup></td> <td>戸谷川流域=(5, 3.2)<sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 6.4)<sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 3.4)<sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 4.5)<sup>4</sup></td> </tr> </tbody> </table>	種類 <sup>4</sup>	発表基準 <sup>4</sup>	警報基準 <sup>4</sup>	注意報基準 <sup>4</sup>	大雨 <sup>4</sup>	(浸水害) <sup>4</sup> 表面雨量指数基準 <sup>4</sup>	11 <sup>4</sup>	5 <sup>4</sup>	(土砂災害) <sup>4</sup> 土壌雨量指数基準 <sup>4</sup>	111 <sup>4</sup>	79 <sup>4</sup>	流域雨量指数基準 <sup>4</sup>	瀬沢川流域=4.5、櫛沢川流域=7.4 <sup>4</sup> 戸谷川流域=4.3、小沢川流域=3.9 <sup>4</sup> 小黒川流域=8.8、犬田切川流域=5.5 <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=3.8、大沢川流域=5.1 <sup>4</sup> 三峰川流域=32.3、新山川流域=5.6 <sup>4</sup> 藤沢川流域=12.2、松倉川流域=5.7 <sup>4</sup> 山室川流域=8.7、黒川流域=17.1 <sup>4</sup> 大清水川流域=5.0、粟沢川流域=4.7 <sup>4</sup>	瀬沢川流域=3.6、櫛沢川流域=5.9 <sup>4</sup> 戸谷川流域=3.4、小沢川流域=7.1 <sup>4</sup> 小黒川流域=5.4、犬田切川流域=4.4 <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=3.0、大沢川流域=4.0 <sup>4</sup> 三峰川流域=25.8、新山川流域=4.4 <sup>4</sup> 藤沢川流域=9.7、松倉川流域=4.5 <sup>4</sup> 山室川流域=8.9、黒川流域=13.8 <sup>4</sup> 大清水川流域=4.0、粟沢川流域=3.7 <sup>4</sup>	瀬沢川流域=3.6、櫛沢川流域=5.9 <sup>4</sup> 戸谷川流域=3.5、小沢川流域=7.1 <sup>4</sup> 小黒川流域=5.8、犬田切川流域=4.4 <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=3.3、大沢川流域=4.1 <sup>4</sup> 三峰川流域=27.8、新山川流域=4.4 <sup>4</sup> 藤沢川流域=10.0、松倉川流域=4.8 <sup>4</sup> 山室川流域=7.1、黒川流域=15.5 <sup>4</sup> 大清水川流域=4.0、粟沢川流域=3.8 <sup>4</sup>	洪水 <sup>4</sup>	戸谷川流域=(5, 2.2) <sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 4.3) <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 2.4) <sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 3.2) <sup>4</sup> 三峰川流域=(6, 20.6) <sup>4</sup> 新山川流域=(6, 3.5) <sup>4</sup> 藤沢川流域=(6, 7.8) <sup>4</sup> 天竜川流域=(6, 31.8) <sup>4</sup>	戸谷川流域=(5, 2.2) <sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 4.3) <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 2.4) <sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 3.2) <sup>4</sup> 三峰川流域=(6, 20.6) <sup>4</sup> 新山川流域=(6, 3.5) <sup>4</sup> 藤沢川流域=(6, 7.8) <sup>4</sup> 天竜川流域=(6, 31.8) <sup>4</sup>	戸谷川流域=(5, 2.5) <sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 4.5) <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 2.4) <sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 3.2) <sup>4</sup> 三峰川流域=(6, 20.6) <sup>4</sup> 新山川流域=(6, 3.5) <sup>4</sup> 藤沢川流域=(6, 7.8) <sup>4</sup> 天竜川流域=(6, 31.8) <sup>4</sup>	複合基準 <sup>4</sup>	戸谷川流域=(5, 3.3) <sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 6.1) <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 3.4) <sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 4.5) <sup>4</sup>	戸谷川流域=(5, 3.2) <sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 6.4) <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 3.4) <sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 4.5) <sup>4</sup>	戸谷川流域=(5, 3.2) <sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 6.4) <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 3.4) <sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 4.5) <sup>4</sup>	<p>(第5節)</p> <p>1 略</p> <p>2</p> <p>(別表)伊那市の警報・注意報発表基準一覧表（令和5年6月8日現在）<sup>4</sup></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類<sup>4</sup></th> <th>発表基準<sup>4</sup></th> <th>警報基準<sup>4</sup></th> <th>注意報基準<sup>4</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">大雨<sup>4</sup></td> <td>(浸水害)<sup>4</sup> 表面雨量指数基準<sup>4</sup></td> <td>11<sup>4</sup></td> <td>5<sup>4</sup></td> </tr> <tr> <td>(土砂災害)<sup>4</sup> 土壌雨量指数基準<sup>4</sup></td> <td>101<sup>4</sup></td> <td>71<sup>4</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">流域雨量指数基準<sup>4</sup></td> <td>瀬沢川流域=4.5、櫛沢川流域=7.4<sup>4</sup> 戸谷川流域=4.4、小沢川流域=3.9<sup>4</sup> 小黒川流域=7.3、犬田切川流域=5.5<sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=3.4、大沢川流域=5.1<sup>4</sup> 三峰川流域=34.6、新山川流域=5.6<sup>4</sup> 藤沢川流域=12.5、松倉川流域=5.7<sup>4</sup> 山室川流域=8.9、黒川流域=19.4<sup>4</sup> 大清水川流域=5.0、粟沢川流域=4.7<sup>4</sup></td> <td>瀬沢川流域=4.5、櫛沢川流域=7.4<sup>4</sup> 戸谷川流域=4.4、小沢川流域=3.9<sup>4</sup> 小黒川流域=7.3、犬田切川流域=5.5<sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=3.4、大沢川流域=5.1<sup>4</sup> 三峰川流域=34.6、新山川流域=5.6<sup>4</sup> 藤沢川流域=12.5、松倉川流域=5.7<sup>4</sup> 山室川流域=8.9、黒川流域=19.4<sup>4</sup> 大清水川流域=5.0、粟沢川流域=4.7<sup>4</sup></td> <td>瀬沢川流域=3.6、櫛沢川流域=5.9<sup>4</sup> 戸谷川流域=3.5、小沢川流域=7.1<sup>4</sup> 小黒川流域=5.8、犬田切川流域=4.4<sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=3.3、大沢川流域=4.1<sup>4</sup> 三峰川流域=27.8、新山川流域=4.4<sup>4</sup> 藤沢川流域=10.0、松倉川流域=4.8<sup>4</sup> 山室川流域=7.1、黒川流域=15.5<sup>4</sup> 大清水川流域=4.0、粟沢川流域=3.8<sup>4</sup></td> </tr> <tr> <td>洪水<sup>4</sup></td> <td>戸谷川流域=(5, 2.2)<sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 4.3)<sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 2.4)<sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 3.2)<sup>4</sup> 三峰川流域=(6, 20.6)<sup>4</sup> 新山川流域=(6, 3.5)<sup>4</sup> 藤沢川流域=(6, 7.8)<sup>4</sup> 天竜川流域=(6, 31.8)<sup>4</sup></td> <td>戸谷川流域=(5, 3.2)<sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 6.4)<sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 3.4)<sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 4.5)<sup>4</sup></td> <td>戸谷川流域=(5, 2.5)<sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 4.5)<sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 2.4)<sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 3.2)<sup>4</sup> 三峰川流域=(6, 20.6)<sup>4</sup> 新山川流域=(6, 3.5)<sup>4</sup> 藤沢川流域=(6, 7.8)<sup>4</sup> 天竜川流域=(6, 31.8)<sup>4</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">複合基準<sup>4</sup></td> <td>戸谷川流域=(5, 3.3)<sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 6.1)<sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 3.4)<sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 4.5)<sup>4</sup></td> <td>戸谷川流域=(5, 3.2)<sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 6.4)<sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 3.4)<sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 4.5)<sup>4</sup></td> <td>戸谷川流域=(5, 3.2)<sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 6.4)<sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 3.4)<sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 4.5)<sup>4</sup></td> </tr> </tbody> </table>	種類 <sup>4</sup>	発表基準 <sup>4</sup>	警報基準 <sup>4</sup>	注意報基準 <sup>4</sup>	大雨 <sup>4</sup>	(浸水害) <sup>4</sup> 表面雨量指数基準 <sup>4</sup>	11 <sup>4</sup>	5 <sup>4</sup>	(土砂災害) <sup>4</sup> 土壌雨量指数基準 <sup>4</sup>	101 <sup>4</sup>	71 <sup>4</sup>	流域雨量指数基準 <sup>4</sup>	瀬沢川流域=4.5、櫛沢川流域=7.4 <sup>4</sup> 戸谷川流域=4.4、小沢川流域=3.9 <sup>4</sup> 小黒川流域=7.3、犬田切川流域=5.5 <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=3.4、大沢川流域=5.1 <sup>4</sup> 三峰川流域=34.6、新山川流域=5.6 <sup>4</sup> 藤沢川流域=12.5、松倉川流域=5.7 <sup>4</sup> 山室川流域=8.9、黒川流域=19.4 <sup>4</sup> 大清水川流域=5.0、粟沢川流域=4.7 <sup>4</sup>	瀬沢川流域=4.5、櫛沢川流域=7.4 <sup>4</sup> 戸谷川流域=4.4、小沢川流域=3.9 <sup>4</sup> 小黒川流域=7.3、犬田切川流域=5.5 <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=3.4、大沢川流域=5.1 <sup>4</sup> 三峰川流域=34.6、新山川流域=5.6 <sup>4</sup> 藤沢川流域=12.5、松倉川流域=5.7 <sup>4</sup> 山室川流域=8.9、黒川流域=19.4 <sup>4</sup> 大清水川流域=5.0、粟沢川流域=4.7 <sup>4</sup>	瀬沢川流域=3.6、櫛沢川流域=5.9 <sup>4</sup> 戸谷川流域=3.5、小沢川流域=7.1 <sup>4</sup> 小黒川流域=5.8、犬田切川流域=4.4 <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=3.3、大沢川流域=4.1 <sup>4</sup> 三峰川流域=27.8、新山川流域=4.4 <sup>4</sup> 藤沢川流域=10.0、松倉川流域=4.8 <sup>4</sup> 山室川流域=7.1、黒川流域=15.5 <sup>4</sup> 大清水川流域=4.0、粟沢川流域=3.8 <sup>4</sup>	洪水 <sup>4</sup>	戸谷川流域=(5, 2.2) <sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 4.3) <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 2.4) <sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 3.2) <sup>4</sup> 三峰川流域=(6, 20.6) <sup>4</sup> 新山川流域=(6, 3.5) <sup>4</sup> 藤沢川流域=(6, 7.8) <sup>4</sup> 天竜川流域=(6, 31.8) <sup>4</sup>	戸谷川流域=(5, 3.2) <sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 6.4) <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 3.4) <sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 4.5) <sup>4</sup>	戸谷川流域=(5, 2.5) <sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 4.5) <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 2.4) <sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 3.2) <sup>4</sup> 三峰川流域=(6, 20.6) <sup>4</sup> 新山川流域=(6, 3.5) <sup>4</sup> 藤沢川流域=(6, 7.8) <sup>4</sup> 天竜川流域=(6, 31.8) <sup>4</sup>	複合基準 <sup>4</sup>	戸谷川流域=(5, 3.3) <sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 6.1) <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 3.4) <sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 4.5) <sup>4</sup>	戸谷川流域=(5, 3.2) <sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 6.4) <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 3.4) <sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 4.5) <sup>4</sup>	戸谷川流域=(5, 3.2) <sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 6.4) <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 3.4) <sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 4.5) <sup>4</sup>	<p>気象庁による、警報注意報発表基準の改定に伴い修正</p>
種類 <sup>4</sup>	発表基準 <sup>4</sup>	警報基準 <sup>4</sup>	注意報基準 <sup>4</sup>																																														
大雨 <sup>4</sup>	(浸水害) <sup>4</sup> 表面雨量指数基準 <sup>4</sup>	11 <sup>4</sup>	5 <sup>4</sup>																																														
	(土砂災害) <sup>4</sup> 土壌雨量指数基準 <sup>4</sup>	111 <sup>4</sup>	79 <sup>4</sup>																																														
流域雨量指数基準 <sup>4</sup>	瀬沢川流域=4.5、櫛沢川流域=7.4 <sup>4</sup> 戸谷川流域=4.3、小沢川流域=3.9 <sup>4</sup> 小黒川流域=8.8、犬田切川流域=5.5 <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=3.8、大沢川流域=5.1 <sup>4</sup> 三峰川流域=32.3、新山川流域=5.6 <sup>4</sup> 藤沢川流域=12.2、松倉川流域=5.7 <sup>4</sup> 山室川流域=8.7、黒川流域=17.1 <sup>4</sup> 大清水川流域=5.0、粟沢川流域=4.7 <sup>4</sup>	瀬沢川流域=3.6、櫛沢川流域=5.9 <sup>4</sup> 戸谷川流域=3.4、小沢川流域=7.1 <sup>4</sup> 小黒川流域=5.4、犬田切川流域=4.4 <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=3.0、大沢川流域=4.0 <sup>4</sup> 三峰川流域=25.8、新山川流域=4.4 <sup>4</sup> 藤沢川流域=9.7、松倉川流域=4.5 <sup>4</sup> 山室川流域=8.9、黒川流域=13.8 <sup>4</sup> 大清水川流域=4.0、粟沢川流域=3.7 <sup>4</sup>	瀬沢川流域=3.6、櫛沢川流域=5.9 <sup>4</sup> 戸谷川流域=3.5、小沢川流域=7.1 <sup>4</sup> 小黒川流域=5.8、犬田切川流域=4.4 <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=3.3、大沢川流域=4.1 <sup>4</sup> 三峰川流域=27.8、新山川流域=4.4 <sup>4</sup> 藤沢川流域=10.0、松倉川流域=4.8 <sup>4</sup> 山室川流域=7.1、黒川流域=15.5 <sup>4</sup> 大清水川流域=4.0、粟沢川流域=3.8 <sup>4</sup>																																														
	洪水 <sup>4</sup>	戸谷川流域=(5, 2.2) <sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 4.3) <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 2.4) <sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 3.2) <sup>4</sup> 三峰川流域=(6, 20.6) <sup>4</sup> 新山川流域=(6, 3.5) <sup>4</sup> 藤沢川流域=(6, 7.8) <sup>4</sup> 天竜川流域=(6, 31.8) <sup>4</sup>	戸谷川流域=(5, 2.2) <sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 4.3) <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 2.4) <sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 3.2) <sup>4</sup> 三峰川流域=(6, 20.6) <sup>4</sup> 新山川流域=(6, 3.5) <sup>4</sup> 藤沢川流域=(6, 7.8) <sup>4</sup> 天竜川流域=(6, 31.8) <sup>4</sup>	戸谷川流域=(5, 2.5) <sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 4.5) <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 2.4) <sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 3.2) <sup>4</sup> 三峰川流域=(6, 20.6) <sup>4</sup> 新山川流域=(6, 3.5) <sup>4</sup> 藤沢川流域=(6, 7.8) <sup>4</sup> 天竜川流域=(6, 31.8) <sup>4</sup>																																													
複合基準 <sup>4</sup>	戸谷川流域=(5, 3.3) <sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 6.1) <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 3.4) <sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 4.5) <sup>4</sup>	戸谷川流域=(5, 3.2) <sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 6.4) <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 3.4) <sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 4.5) <sup>4</sup>	戸谷川流域=(5, 3.2) <sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 6.4) <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 3.4) <sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 4.5) <sup>4</sup>																																														
	種類 <sup>4</sup>	発表基準 <sup>4</sup>	警報基準 <sup>4</sup>	注意報基準 <sup>4</sup>																																													
大雨 <sup>4</sup>	(浸水害) <sup>4</sup> 表面雨量指数基準 <sup>4</sup>	11 <sup>4</sup>	5 <sup>4</sup>																																														
	(土砂災害) <sup>4</sup> 土壌雨量指数基準 <sup>4</sup>	101 <sup>4</sup>	71 <sup>4</sup>																																														
流域雨量指数基準 <sup>4</sup>	瀬沢川流域=4.5、櫛沢川流域=7.4 <sup>4</sup> 戸谷川流域=4.4、小沢川流域=3.9 <sup>4</sup> 小黒川流域=7.3、犬田切川流域=5.5 <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=3.4、大沢川流域=5.1 <sup>4</sup> 三峰川流域=34.6、新山川流域=5.6 <sup>4</sup> 藤沢川流域=12.5、松倉川流域=5.7 <sup>4</sup> 山室川流域=8.9、黒川流域=19.4 <sup>4</sup> 大清水川流域=5.0、粟沢川流域=4.7 <sup>4</sup>	瀬沢川流域=4.5、櫛沢川流域=7.4 <sup>4</sup> 戸谷川流域=4.4、小沢川流域=3.9 <sup>4</sup> 小黒川流域=7.3、犬田切川流域=5.5 <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=3.4、大沢川流域=5.1 <sup>4</sup> 三峰川流域=34.6、新山川流域=5.6 <sup>4</sup> 藤沢川流域=12.5、松倉川流域=5.7 <sup>4</sup> 山室川流域=8.9、黒川流域=19.4 <sup>4</sup> 大清水川流域=5.0、粟沢川流域=4.7 <sup>4</sup>	瀬沢川流域=3.6、櫛沢川流域=5.9 <sup>4</sup> 戸谷川流域=3.5、小沢川流域=7.1 <sup>4</sup> 小黒川流域=5.8、犬田切川流域=4.4 <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=3.3、大沢川流域=4.1 <sup>4</sup> 三峰川流域=27.8、新山川流域=4.4 <sup>4</sup> 藤沢川流域=10.0、松倉川流域=4.8 <sup>4</sup> 山室川流域=7.1、黒川流域=15.5 <sup>4</sup> 大清水川流域=4.0、粟沢川流域=3.8 <sup>4</sup>																																														
	洪水 <sup>4</sup>	戸谷川流域=(5, 2.2) <sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 4.3) <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 2.4) <sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 3.2) <sup>4</sup> 三峰川流域=(6, 20.6) <sup>4</sup> 新山川流域=(6, 3.5) <sup>4</sup> 藤沢川流域=(6, 7.8) <sup>4</sup> 天竜川流域=(6, 31.8) <sup>4</sup>	戸谷川流域=(5, 3.2) <sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 6.4) <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 3.4) <sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 4.5) <sup>4</sup>	戸谷川流域=(5, 2.5) <sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 4.5) <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 2.4) <sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 3.2) <sup>4</sup> 三峰川流域=(6, 20.6) <sup>4</sup> 新山川流域=(6, 3.5) <sup>4</sup> 藤沢川流域=(6, 7.8) <sup>4</sup> 天竜川流域=(6, 31.8) <sup>4</sup>																																													
複合基準 <sup>4</sup>	戸谷川流域=(5, 3.3) <sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 6.1) <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 3.4) <sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 4.5) <sup>4</sup>	戸谷川流域=(5, 3.2) <sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 6.4) <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 3.4) <sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 4.5) <sup>4</sup>	戸谷川流域=(5, 3.2) <sup>4</sup> 小黒川流域=(5, 6.4) <sup>4</sup> 猪ノ沢川流域=(5, 3.4) <sup>4</sup> 大沢川流域=(5, 4.5) <sup>4</sup>																																														

ページ	旧	新	摘要
風水害—32	<p>(第6節) 1 気象警報、注意報及び情報 (1) 伝達系統</p> 	<p>(第6節) 1 気象警報、注意報及び情報 (1) 伝達系統</p> 	現状に合わせて修正
応急—3	<p>(第1節) 基本方針 略 活動の内容 第1 被害情報の収集 1～5 略 6 被害状況等の認定の基準 (新設)</p>	<p>(第1節) 基本方針 略 活動の内容 第1 被害情報の収集 1～5 略 6 被害状況等の認定の基準</p> <div data-bbox="1050 879 1780 994" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>準半壊<sup>①</sup> 住家が半壊又は半壊に準ずる程度の損傷を受けたもので、具体的には、損壊部分がその住家の延床面積の10%以上20%未満のもの、または住家の主要な構成要素の経済的被害を住家全体に占める損害割合で表し、その住家の損害割合が10%以上20%未満のものとする。</p> </div>	災害に係る住家の被害認定基準運用市誌に基づき、表に追記
応急—7	<p>(第1節) 基本方針 略 活動内容 略 第1 略 第2 被害情報の報告 1～4 略 5 県関係機関等へ報告する報告様式及び報告系統 (1)概況速報「様式第1号」</p>	<p>(第1節) 基本方針 略 活動内容 略 第1 略 第2 被害情報の報告 1～4 略 5 県関係機関等へ報告する報告様式及び報告系統 (1)概況速報「様式第1号」</p>	現状に合わせて修正

ページ	旧	新	摘要																																																																																																																
<p>応急—7</p>																																																																																																																			
<p>応急—23</p>	<p>(第4節) 基本方針 略 活動内容 1～3 略 4 活動内容に応じ、県の選定するヘリコプター一覧</p> <table border="1" data-bbox="293 719 1023 1118"> <thead> <tr> <th>名□□□称<sup>ロ</sup></th> <th>機□□種<sup>ロ</sup></th> <th>定員<sup>ロ</sup></th> <th>救助ホ イスト<sup>ロ</sup></th> <th>消火<sup>ロ</sup> 装置</th> <th>物資<sup>ロ</sup> 吊下<sup>ロ</sup></th> <th>ヘリテ レ・ヘリ サット<sup>ロ</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県消防防災ヘリコプター<sup>ロ</sup> (アルプス)<sup>ロ</sup></td> <td>ベル412EPI<sup>ロ</sup></td> <td>15<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> </tr> <tr> <td>県警ヘリコプター<sup>ロ</sup> (やまびこ1)<sup>ロ</sup></td> <td>ユーロコプターAS365N3<sup>ロ</sup></td> <td>13<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> </tr> <tr> <td>県警ヘリコプター<sup>ロ</sup> (やまびこ2)<sup>ロ</sup></td> <td>アグスタ AW139<sup>ロ</sup></td> <td>17<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> </tr> <tr> <td>広域航空消防応援等ヘリコプ ター<sup>ロ</sup></td> <td>各種<sup>ロ</sup></td> <td>各種<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> </tr> <tr> <td>自衛隊ヘリコプター<sup>ロ</sup></td> <td>各種<sup>ロ</sup></td> <td>各種<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> </tr> <tr> <td>海上保安庁ヘリコプター<sup>ロ</sup></td> <td>各種<sup>ロ</sup></td> <td>各種<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> </tr> <tr> <td>ドクターヘリ<sup>ロ</sup></td> <td>各種<sup>ロ</sup></td> <td>6<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> </tr> </tbody> </table>	名□□□称 <sup>ロ</sup>	機□□種 <sup>ロ</sup>	定員 <sup>ロ</sup>	救助ホ イスト <sup>ロ</sup>	消火 <sup>ロ</sup> 装置	物資 <sup>ロ</sup> 吊下 <sup>ロ</sup>	ヘリテ レ・ヘリ サット <sup>ロ</sup>	県消防防災ヘリコプター <sup>ロ</sup> (アルプス) <sup>ロ</sup>	ベル412EPI <sup>ロ</sup>	15 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	県警ヘリコプター <sup>ロ</sup> (やまびこ1) <sup>ロ</sup>	ユーロコプターAS365N3 <sup>ロ</sup>	13 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	県警ヘリコプター <sup>ロ</sup> (やまびこ2) <sup>ロ</sup>	アグスタ AW139 <sup>ロ</sup>	17 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	広域航空消防応援等ヘリコプ ター <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	自衛隊ヘリコプター <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	海上保安庁ヘリコプター <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	ドクターヘリ <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	6 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	<p>(第4節) 基本方針 略 活動内容 1～3 略 4 活動内容に応じ、県の選定するヘリコプター一覧</p> <table border="1" data-bbox="1050 719 1780 1118"> <thead> <tr> <th>名□□□称<sup>ロ</sup></th> <th>機□□種<sup>ロ</sup></th> <th>定員<sup>ロ</sup></th> <th>救助ホ イスト<sup>ロ</sup></th> <th>消火<sup>ロ</sup> 装置</th> <th>物資<sup>ロ</sup> 吊下<sup>ロ</sup></th> <th>ヘリテ レ・ヘリ サット<sup>ロ</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県消防防災ヘリコプター<sup>ロ</sup> (アルプス)<sup>ロ</sup></td> <td>ベル412EPI<sup>ロ</sup></td> <td>15<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> </tr> <tr> <td>県警ヘリコプター<sup>ロ</sup> (やまびこ1)<sup>ロ</sup></td> <td>aw139 (JA01EE)<sup>ロ</sup></td> <td>12<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> </tr> <tr> <td>県警ヘリコプター<sup>ロ</sup> (やまびこ2)<sup>ロ</sup></td> <td>aw139 (JA220E)<sup>ロ</sup></td> <td>17<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> </tr> <tr> <td>広域航空消防応援等ヘリコプ ター<sup>ロ</sup></td> <td>各種<sup>ロ</sup></td> <td>各種<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> </tr> <tr> <td>自衛隊ヘリコプター<sup>ロ</sup></td> <td>各種<sup>ロ</sup></td> <td>各種<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> </tr> <tr> <td>海上保安庁ヘリコプター<sup>ロ</sup></td> <td>各種<sup>ロ</sup></td> <td>各種<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> </tr> <tr> <td>ドクターヘリ<sup>ロ</sup></td> <td>ユーロコプターEC135P2<sup>ロ</sup></td> <td>6<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> <td>○<sup>ロ</sup></td> </tr> </tbody> </table>	名□□□称 <sup>ロ</sup>	機□□種 <sup>ロ</sup>	定員 <sup>ロ</sup>	救助ホ イスト <sup>ロ</sup>	消火 <sup>ロ</sup> 装置	物資 <sup>ロ</sup> 吊下 <sup>ロ</sup>	ヘリテ レ・ヘリ サット <sup>ロ</sup>	県消防防災ヘリコプター <sup>ロ</sup> (アルプス) <sup>ロ</sup>	ベル412EPI <sup>ロ</sup>	15 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	県警ヘリコプター <sup>ロ</sup> (やまびこ1) <sup>ロ</sup>	aw139 (JA01EE) <sup>ロ</sup>	12 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	県警ヘリコプター <sup>ロ</sup> (やまびこ2) <sup>ロ</sup>	aw139 (JA220E) <sup>ロ</sup>	17 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	広域航空消防応援等ヘリコプ ター <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	自衛隊ヘリコプター <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	海上保安庁ヘリコプター <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	ドクターヘリ <sup>ロ</sup>	ユーロコプターEC135P2 <sup>ロ</sup>	6 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	<p>やまびこ号 (1、2)、ドク ターヘリの機種変更に伴い、修 正</p>
名□□□称 <sup>ロ</sup>	機□□種 <sup>ロ</sup>	定員 <sup>ロ</sup>	救助ホ イスト <sup>ロ</sup>	消火 <sup>ロ</sup> 装置	物資 <sup>ロ</sup> 吊下 <sup>ロ</sup>	ヘリテ レ・ヘリ サット <sup>ロ</sup>																																																																																																													
県消防防災ヘリコプター <sup>ロ</sup> (アルプス) <sup>ロ</sup>	ベル412EPI <sup>ロ</sup>	15 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>																																																																																																													
県警ヘリコプター <sup>ロ</sup> (やまびこ1) <sup>ロ</sup>	ユーロコプターAS365N3 <sup>ロ</sup>	13 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>																																																																																																													
県警ヘリコプター <sup>ロ</sup> (やまびこ2) <sup>ロ</sup>	アグスタ AW139 <sup>ロ</sup>	17 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>																																																																																																													
広域航空消防応援等ヘリコプ ター <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>																																																																																																													
自衛隊ヘリコプター <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>																																																																																																													
海上保安庁ヘリコプター <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>																																																																																																													
ドクターヘリ <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	6 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>																																																																																																													
名□□□称 <sup>ロ</sup>	機□□種 <sup>ロ</sup>	定員 <sup>ロ</sup>	救助ホ イスト <sup>ロ</sup>	消火 <sup>ロ</sup> 装置	物資 <sup>ロ</sup> 吊下 <sup>ロ</sup>	ヘリテ レ・ヘリ サット <sup>ロ</sup>																																																																																																													
県消防防災ヘリコプター <sup>ロ</sup> (アルプス) <sup>ロ</sup>	ベル412EPI <sup>ロ</sup>	15 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>																																																																																																													
県警ヘリコプター <sup>ロ</sup> (やまびこ1) <sup>ロ</sup>	aw139 (JA01EE) <sup>ロ</sup>	12 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>																																																																																																													
県警ヘリコプター <sup>ロ</sup> (やまびこ2) <sup>ロ</sup>	aw139 (JA220E) <sup>ロ</sup>	17 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>																																																																																																													
広域航空消防応援等ヘリコプ ター <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>																																																																																																													
自衛隊ヘリコプター <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>																																																																																																													
海上保安庁ヘリコプター <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	各種 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>																																																																																																													
ドクターヘリ <sup>ロ</sup>	ユーロコプターEC135P2 <sup>ロ</sup>	6 <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>	○ <sup>ロ</sup>																																																																																																													
<p>応急—53</p>	<p>(第11節) 1～3 略 4 各避難所の運営・留意点 (1) 略 (2) 指定避難所の運営 指定避難所の運営は、自治会、自主防災組織が主 体となり、NPO・ボランティア等、施設管理者及び 派遣された市職員が協力する。避難所運営委員会を</p>	<p>(第11節) 1～3 略 4 各避難所の運営・留意点 (1) 略 (2) 指定避難所の運営 指定避難所の運営は、自治会、自主防災組織が主 体となり、NPO・ボランティア等、施設管理者及び 派遣された市職員が協力する。避難所運営委員会を</p>	<p>国の防災基本計画に あわせて修正</p>																																																																																																																

ページ	旧	新	摘 要
応急—53	組織し、選出した避難所運営委員長を中止に行う。	組織し、選出した避難所運営委員長を中止に行う。 <u>この際、避難所生活支援に関する知見やノウハウを有する地域の人材に対して、協力を求める等、地域全体で避難者を支えることができるように留意すること。</u>	
応急—70	(第16節) 主な活動 1 保健師による被災者の健康相談等を行い、避難所における、健康意識向上を図る。また、被災者の食料確保状況を把握し、栄養士による栄養指導を行い食品衛生上の危害防止を図る。	(第16節) 主な活動 1 保健師による被災者の健康相談等を行い、避難所における、健康意識向上を図る。また、被災者の食料確保状況を把握し、栄養士による栄養指導を行い食品衛生上の危害防止を図る。 <u>さらに、歯科衛生士による口腔衛生指導を行うとともに、口腔衛生の維持に努める。</u>	県地域防災計画にあわせて修正
応急—80	(第20節) 基本方針 略 主な活動 略 活動の内容 1 共通事項 大規模地震等発生時において、危険物施設の損傷等による危険物の流出、爆発及び火災の発生防止、被害の拡大防災当の応急対策を実施し、当該施設の関係者及び周辺住民の安全を確保する。	(第20節) 基本方針 略 主な活動 略 活動の内容 1 共通事項 大規模災害発生時において、危険物施設の損傷等による危険物の流出、爆発及び火災の発生防止、被害の拡大防災当の応急対策を実施し、当該施設の関係者及び周辺住民の安全を確保する。	文言の言い換え
応急—85	(第21節) 基本方針 略 主な活動 略 活動の内容 1～2 略 3 応急復旧対策 (1)～(3) 略 (4) 配管給水の衛生確保 応急復旧後の通水にあたっては飲料水の遊離	(第21節) 基本方針 略 主な活動 略 活動の内容 1～2 略 3 応急復旧対策 (1)～(3) 略 (4) 配管給水の衛生確保 応急復旧後の通水にあたっては飲料水の遊離	水道法施行規則（衛生上必要な措置）第十七条三に基づき数値の変更



ページ	旧	新	摘 要
応急—85	<p>残留塩素濃度を適宜測定し、<u>1.2mg/l</u> 以上（結合残留塩素の場合は1.5mg/l 以上）となるよう消毒を強化する。</p>	<p>残留塩素濃度を適宜測定し、<u>0.2mg/l</u> 以上（結合残留塩素の場合は1.5mg/l 以上）となるよう消毒を強化する。</p>	
応急—114	<p>(第33節) 主な活動 1 被災地のボランティアニーズの把握を行い、ボランティアの受け入れ体制の確保に努めるとともに、被災地で支援活動をおこなっているボランティア関係団体と情報を共有する場を設置し、被災者のニーズや支援活動の全体像を<u>把握</u>し、連携のとれた支援活動を展開する。</p>	<p>(第33節) 主な活動 1 被災地のボランティアニーズの把握を行い、ボランティアの受け入れ体制の確保に努めるとともに、被災地で支援活動をおこなっているボランティア関係団体と情報を共有する場を設置し、被災者のニーズや支援活動の全体像を<u>関係者と積極的に共有</u>し、連携のとれた支援活動を展開する。</p>	<p>文言の言い換え</p>
復旧—9	<p>(第5節) 基本方針 災害を受けた地域住民の民生安定のため、住宅対策、被災者再建支援法の適用等各般にわたる救済措置をとることにより、被災者当の生活再建を支援する。 また、被災者等の生活再建に向けて、住まいの確保、生活資金等の支給やその迅速な処理のための仕組みの構築に加え、生業や就労の回復による生活資金の継続的確保、コミュニティの維持回復、心身のケア等生活全般にわたってきめ細やかな支援を講じる必要がある。 さらに、被災者が自らに適した支援制度を活用して生活再建に取り組むことができるよう、見守り・相談の機会や被災者台帳等を活用したきめ細やかな支援を行うとともに、被災者が容易に支援制度をすることができる環境の整備に努める。</p>	<p>(第5節) 基本方針 災害を受けた地域住民の民生安定のため、住宅対策、被災者再建支援法の適用等各般にわたる救済措置をとることにより、被災者当の生活再建を支援する。 また、被災者等の生活再建に向けて、住まいの確保、生活資金等の支給やその迅速な処理のための仕組みの構築に加え、生業や就労の回復による生活資金の継続的確保、コミュニティの維持回復、心身のケア等生活全般にわたってきめ細やかな支援を講じる必要がある。 さらに、被災者が自らに適した支援制度を活用して生活再建に取り組むことができるよう、<u>災害ケースマネジメントの実施等により</u>、見守り・相談の機会や被災者台帳等を活用したきめ細やかな支援を行うとともに、被災者が容易に支援制度をすることができる環境の整備に努める。</p>	<p>国の防災基本計画に合わせて修正</p>

ページ	旧	新	摘要
南海―8	<p>(第4節) 基本方針 略 活動の内容 1 市が実施する広報 (1)広報内容 ア～イ 略 ウ南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）等 (ア)～(エ) 略 (オ) <u>新設</u></p>	<p>(第4節) 基本方針 略 活動の内容 1 市が実施する広報 (1)広報内容 ア～イ 略 ウ南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）等 (ア)～(エ) 略 (オ) <u>後発地震に備えるために基本的な防災対応日頃からの地震への備えを再確認する等、できるだけ安全な防災対策をとること等</u></p>	<p>県地域防災計画に 合わせて修正</p>
南海―21、22  南海―21.22	<p>(第9節) 基本方針 略 活動内容 1～5 略 6 防災関係機関が自ら管理等を行う道路、河川その他の施設に関する対策 (1)防災上重要な施設に関する対策 県及び市は、防災上重要な施設（災害応急対策の実施上大きな役割を果たすことが期待できるものについて、後発地震発生後においてもその機能を果たすため、体制を整えるとともに、必要な措置を講ずるものとする。 (2)多数が出入りする施設に関する対策 学校、社会福祉施設、社会教育施設、社会体育施設、博物館、美術館、図書館等の多数の者が出入りする施設の管理上の措置の共通事項として以下の対応を行うものとする。 ・施設の防火点検及び設備、備品等の転倒 ・落下・破損防止措置 (3) 略 (4) <u>(新設)</u></p>	<p>(第9節) 基本方針 略 活動内容 1～5 略 6 防災関係機関が自ら管理等を行う道路、河川その他の施設に関する対策 (1)防災上重要な施設に関する対策 県及び市町村は、<u>特に後発地震発生後においても</u>、防災上重要な施設（災害応急対策の実施上大きな役割を果たすことが期待できるもの）について、その機能を果たすため、体制を整えるとともに、必要な措置を講ずるものとする。 (2)多数が出入りする施設に関する対策 学校、社会福祉施設、社会教育施設、社会体育施設、博物館、美術館、図書館等の多数の者が出入りする施設の管理上の措置の共通事項として以下の対応を行うものとする。 ・施設の防火点検及び設備、備品等の転倒・<u>落下・破損防止措置</u> ・<u>(削除)</u> (4)防災関係機関は、各施設について、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）等が発表された場合の緊急点検、巡視の実施必要箇所を選定し、必要な実施体制を整備するものとする。</p>	<p>県地域防災計画に あわせて修正</p>

